

屋外用カメラハウジング CH-771

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよく
お読みください。
お読みになったあと、大切に保存してください。

はじめに 安全上のご注意

仕様	<ul style="list-style-type: none">性能構造 回路図 外観図 リヤパネルの開け方
----	---

ご注意	<ul style="list-style-type: none">カメラ・レンズ取付けフロントパネルの取外し方PTH-77 型付属ケーブル 接続方法
-----	---

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ご使用前にこの「安全上のご注意」および「取扱説明書」をよくお読みください。
この内容は、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

図記号について

その表示と図記号は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止行為であることを示しています。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、必ず守ってほしい行為を示します。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

- 製品の設置は、十分に強度のある場所に取り付け、指定方法以外の取り付けはしないでください。
落下などの原因となります。



- 製品の上に乗ったり、足場などにしないでください。
転落の原因となります。



- 製品の内部を分解したり、改造や追加加工をしないでください。
機器の破損や落下、浸水、火災、感電などの原因となります。



- 電源回路には、ブレーカーやヒューズ、接地などの保護対策をしてください。保護対策をしないと火災、感電の原因となります。



- 表示された電源以外は、使用しないでください。
火災、感電の原因となります。



⚠ 注意

- 屋外用製品は、機器やケーブルなどが全て接続完了までは防水構造になりません。
ぬらさないようご注意ください。
浸水、腐食、漏電、火災の原因となります。



- 防水構造の機能を満たすため、防水コネクタやブッシングにケーブルを組み付ける時は、ケーブル径と防水パッキンの適合性を確認してから確実にナットを締め付けてください。
浸水、腐食、漏電、火災の原因となります。



- コネクタやプラグを抜く時は、ケーブルをつかんで抜かないでください。
必ずコネクタやプラグを持って抜いてください。
接解不良により火災、感電の原因となります。



- 製品は、指定された方向以外に取り付けしないでください。
屋外用製品であっても、指定以外の方向に取り付けますと内部に浸水したり、火災、感電、落下の原因となります。



- 製品を振動の多い場所に取り付けしないでください。
ネジがゆるみ、破損や落下の原因となります。



- 安全に使用するために機器類は、定期的に点検を行ってください。
ケーブルの劣化、腐食による、浸水などにより漏電、火災の原因となります。



- 設置工事は専門知識のある工事関係者又は、所定のサービスマン以外の方は、作業をしないでください。
火災、感電の原因となります。



- 梱包材は、安全な方法で処分してください。
不用意に燃やしたりしますと、黒煙が出て環境を害したり、ケガや窒息する危険があります。



- 高所での作業は、安全防具（安全帯など）の着用と工具類の落下防止対策を必ず行ってください。
転落、ケガ、工具落下による事故の危険があります。



- 接続ケーブルは、足が引っ掛からない処置をしてください。
つまずいてケガをしたり、火災、感電の原因となります。



- 使用しなくなった機器類は、電源を切って速やかに撤去してください。
設置したまま放置しておきますと腐食して落下、漏電、火災などの危険があります。



仕 様

■概 要

本カメラハウジングは、小型テレビカメラ及びレンズ等を収納し、屋外での直射日光や風雨から機器を保護するために用いる小型カメラハウジングです。また、別構成部品（オプション）の、ワイパー・ヒーター・デフロストガラス・ファン等を装備することにより、あらゆる気象条件に対応できるように設計されています。（オプション単体での販売はしていません。）

■構 成

一式の構成は、下記によります。

1) 本体	1 台
2) カメラ取付板（本体に組込済み）	1 個
3) 付属品	1 式
4) 取扱説明書	1 冊

■性 能

1) 使用条件：屋外一般

2) 使用温度：-5℃～+45℃

但し、使用カメラの使用周囲温度により増減します。また、オプション部品、ヒーターキットを装備することにより、低温域を、内部空気攪拌用ファンキットを装備することにより、高温域を改善することができます。

（ワイパーは、-5℃～+40℃の範囲とし凍結しない場合）

■ヒーター装備 -10℃ ヒーター17W×1 枚

■ファン装備 カメラの使用温度にご注意ください。

3) 使用湿度：35%～98%(相対湿度)

4) 電 源：AC100V±10% 50/60Hz 単相

5) 使用電力：デフロストガラス 5W±30%

ファン 4.5VA±20%（50Hz 時）

ヒーター 17W±20%

ワイパー 11VA±20%（50Hz 時）

6) 動作温度

及び制御：デフロストガラス ガラス温度約 35℃以下ON約 50℃以上OFF
（サーモスイッチによる。）

ファン 約 30℃以上ON（サーモスイッチによる。）

ヒーター 約 7℃以下ON（サーモスイッチによる。）

ワイパー 遠隔制御によるAC100VのON-OFFによるもの
として、ワイパー1 往復時間は約 2 秒として間欠定格
（10 分）とします。

7) 防 水 性：IP66規格に準ずることとします。

8) 本体質量：約 4.5kg（フルキット時、約 6.3kg）

9) 保存温度：-30℃～+60℃

10) 電氣的耐力：イ) 絶縁抵抗

DC500Vメガーにて、5MΩ以上（但し、常温・常湿時）

ロ) 耐電圧

AC1000V 50/60Hzを 1 分間印加して異常ないものと

します。（但し、常温・常湿時）（ACラインとFG端子間とします。）

■構造

- 1) 外 観：外観図参照
- 2) 内部容量：幅×高さ×長さ（約）110×85×325
- 3) 主要外装材：
 - 本体 アルミ押し材（A6063）
 - 前枠・後蓋部 アルミダイキャスト（ADC12）
 - サンシェイド 耐食アルミ板（A5052P）
 - その他 ステンレス鋼、及び硝子
- 4) 仕 上 げ：
 - 本体 塗装
 - 前枠部 マンセル N1.5 黒色 半ツヤ塗装
 - その他の部分 マンセル 5Y8/1 近似色レザートーン仕上げ粉体塗装
- 5) 防 錆：
 - 外部に露出しているねじ・ボルト類はステンレス鋼製とし表面処理強化を施すものとします。
 - 塗装は、3 価クロメート処理後、ポリエステル系上塗り仕上げ。
- 6) 外 線 接 続：
 - ケーブル貫通ブッシングを通し、内部のターミナルに接続する。
 - ブッシング ケーブル適合径
 - 電源・制御線用 $\phi 10 \sim \phi 14$
 - 映像用 $\phi 5 \sim \phi 10$ (3C-2V/5C-2V)
 - 内部端子台（M3 ねじ止め端子）
12P 1個
 - アースネジ（M4 ネジをターミナル金具に装備）
- 7) 回路図及び回路部品：
 - 回路図・回路部品表によります。

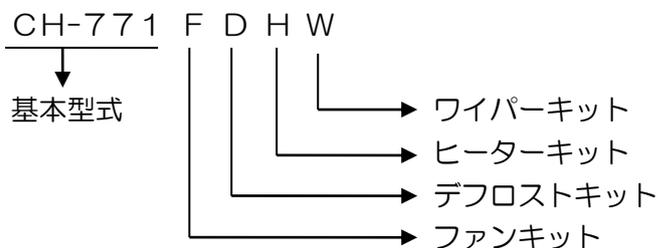
■付属品

一式の付属品の種類及び個数は下記によります。

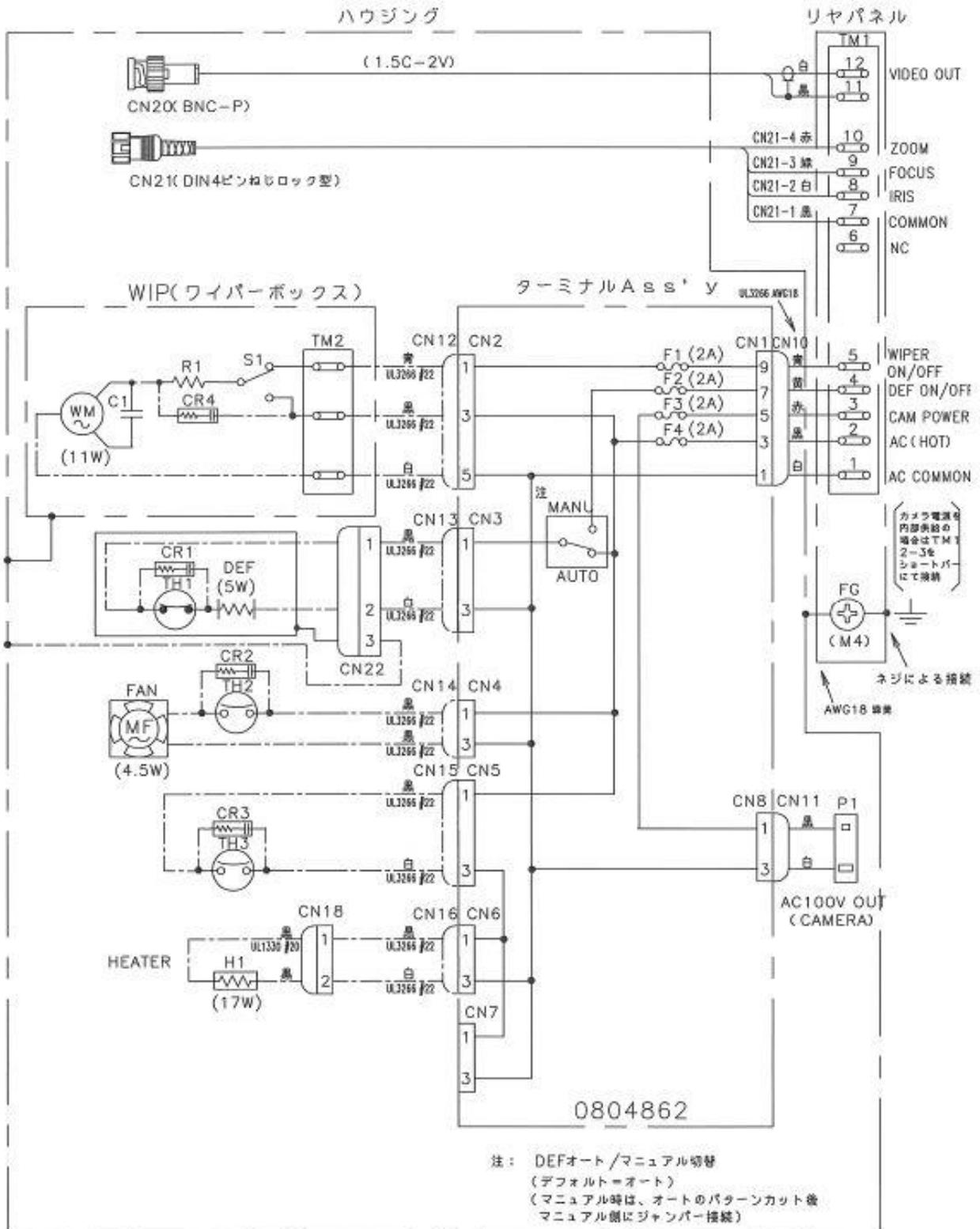
- | | | |
|-----------------------------|------------------------|-----|
| ■本体固定用取付ボルト類（SUS 製） | ■圧着端子（予備を含む） | 20個 |
| M6×12 六角ボルト（座金組込み） 4本 | （日本圧着端子製造製 FN1.25-MS3） | |
| ■カメラ取付ボルト類（SUS 製） | | |
| W1/4×12 六角ボルト | 2本 | |
| $\phi 6$ バネ座金/ $\phi 6$ 平座金 | 各 2個 | |
| 絶縁ワッシャー（POM 製） | 2個 | |

■型名について

カメラハウジングの型名は、工場オプション装着時、以下のように表示します。



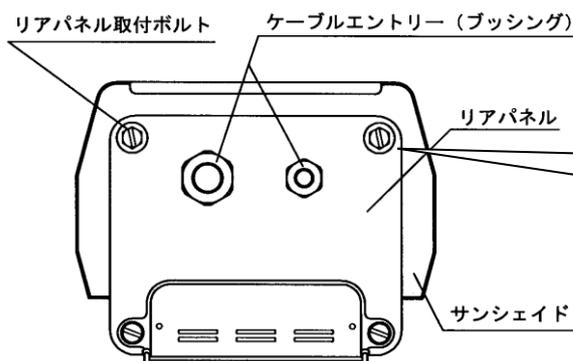
回路図



回路部品表

記号	品名	個数	規格又は型式	メーカー名
TM1	13ピンターミナル	1	SBB102-12P	ワールド
TM2	4ピンターミナル	1	A106Z-4P	ワールド
CN20	同軸プラグ	1	BNC-P-1.7	小峰無線
CN21	4ピンプラグ	1	Mak4100	ハーシュマン
CN18,	中継コネクタ	2	1625-2R	モレックス
CN18	中継コネクタ	2	1625-2P	モレックス
CN22	中継コネクタ	1	1625-3R	モレックス
CN22	中継コネクタ	1	1625-3P	モレックス
DEF	デフロストガラス	1	AC100V 5W	
FAN	モーターファン	1	AC115V 50/60 Hz 4.5/4W	N.M.B他
H1,H2	パネルヒーター	2	100V 17W	日本 パイオニクス
WM	ワイパーモーター	1	AC100V 11VA	オリエンタル モーター
C1	起動コンデンサー	1	1.5 μ F 200VAC モーター付属	
TH1	サーモスイッチ(D)	1	11S-A48	松尾電器
TH2	サーモスイッチ(F)	1	MQT-8KT-30YB	松尾電器
TH3	サーモスイッチ(H)	1	MQT-8KT-10XB	松尾電器
CR1.4	スパークキラー	2	S-120033	岡谷電機
CR2	スパークキラー	1	SB120033	岡谷電機
CR3	スパークキラー	1	SB-1201	岡谷電機
CN10	コネクタ	1	VHR-9N	JST
CN12	コネクタ	1	XHP-5	JST
CN11	コネクタ	1	XHP-3	JST
CN13	コネクタ	1	XHP-3-BK	JST
CN14	コネクタ	1	XHP-3-E	JST
CN15	コネクタ	1	XHP-3-Y	JST
CN16.17	コネクタ	2	XHP-3-R	JST
P1	ACメスプラグ	1	MC2622W1	明光社
R1	ホーロー抵抗	1	5 Ω 5W	
S1	リミットスイッチ	1	SS-5GL	オムロン
	ターミナルAss'y 基板	1	0804862	ソリスト
CN1	9Pコネクタ	1	B9PS-VH	JST
CN2	5Pコネクタ	1	S5B-XH-A	JST
CN3	3Pコネクタ	1	S3B-XH-A-BK	JST
CN4	3Pコネクタ	1	S3B-XH-A-E	JST
CN5	3Pコネクタ	1	S3B-XH-A-Y	JST
CN6.7	3Pコネクタ	2	S3B-XH-A-R	JST
CN8	3Pコネクタ	1	S3B-XH-A	JST
F1~F4	ヒューズ	4	CCFIN2	KOA

リアパネルの開け方

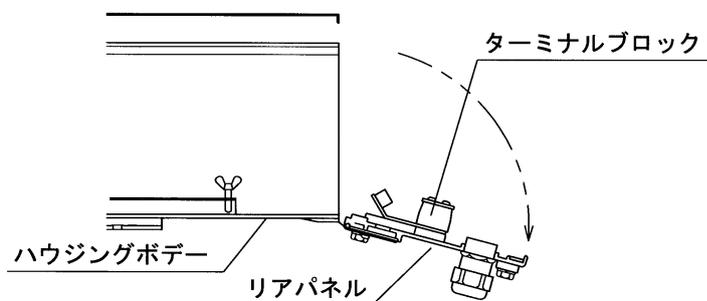


リアパネルを開けるときは取り付けボルト（4本）を緩めてください。

ネジ締め付けトルク
トルクドライバー
設定値
200cN・m (2N・m)

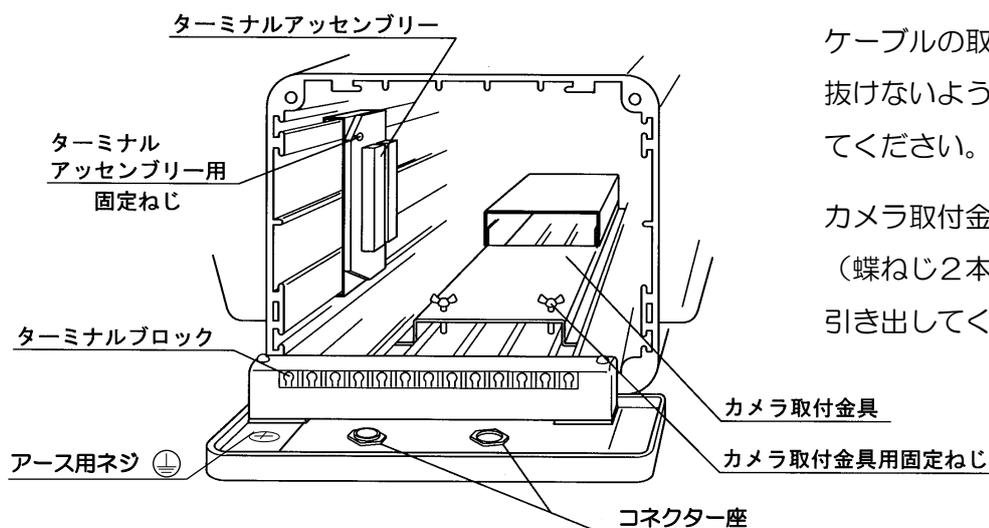
図A カメラハウジング後部

リアパネルの下側に蝶番がついています。B図のように下方に開いてください。



ケーブルエントリーを通したケーブルは回路図に従ってターミナルブロックへ正しく取り付けてください。

図B カメラハウジング側面



ケーブルの取付は引っ張っても抜けないうように確実にねじを締めてください。

カメラ取付金具は固定ねじ（蝶ねじ2本）を緩めてから引き出してください。

図C カメラハウジング後(内部)

注意

- リヤパネルを閉じる時は、リード線等、挟み込みのないよう注意してください。（不完全な組み付け方をしますと雨水が浸水したり、感電の恐れがあります。）

取り付け時の注意

設置方法

カメラを本カメラハウジングに収納・接続・メンテナンス等を行う場合は、必ずハウジング電源を切ってから作業を行ってください。

また、電源を入れた場合は、ファン・ヒーターが動作する場合がありますので、動作している際は危険ですので、指を近づけないようご注意ください。

ケーブル取り付け時

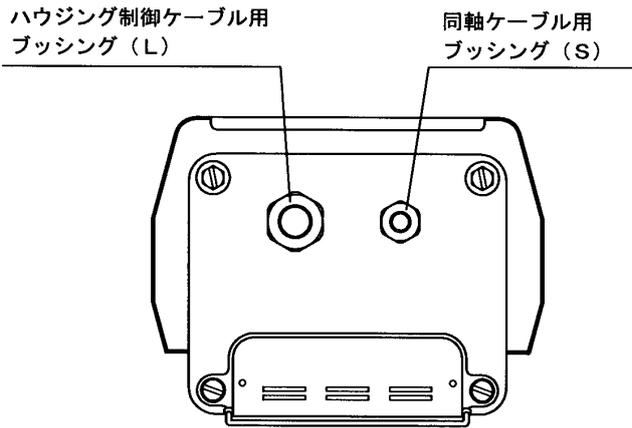


図1 リヤパネル

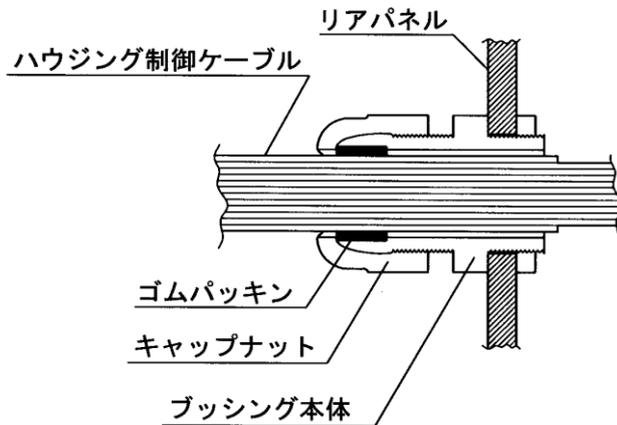


図2 ブッシング(L)断面

1. ハウジング用制御ケーブル及び同軸ケーブルをブッシングに貫通させる時は、下記(2.、3. 項)にご注意ください。
2. ハウジング用制御ケーブルをブッシング(L)に図2及び図3のように、キャップナット・ゴムパッキン・ブッシング本体の順に通してください。
3. ゴムパッキンは図2のように確実に取り付けてください。不完全な取り付けをしますと雨水が浸水します。

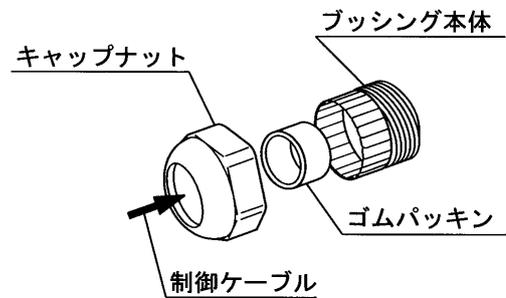


図3 ブッシング(L)分解

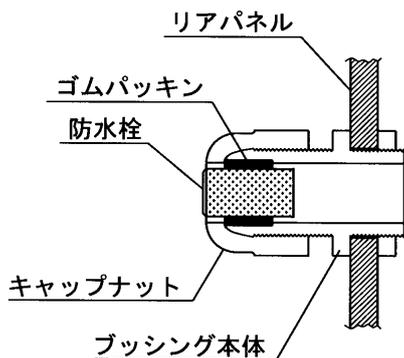


図4 ブッシング(S)断面

4. PTH-17型付属のハウジング制御ケーブルを使用される場合は、同軸ケーブル1組が内蔵されていますから、同軸用ブッシング(S)は不用です。図4のように防水栓を確実に取り付けおいてください。
5. 防水栓の外側に屋外用コーキングを塗布しておかれますと、一層安全です。

カメラ・レンズを組込んだベースをボデーに装着する時

- 1) ズームレンズを動作させた時、マドガラスに当る位置でベースを固定しますと該マドガラスが破損し浸水の恐れがありますので取付位置に注意してください。
- 2) デフロストガラスが破損しますと浸水し、電源ショート、感電の恐れがありますので注意してください。

フロントパネルの取外し方

フロントパネルを外す時は、プラスバインドねじ M4×16（黒色）を 4 カ所フロントパネルから取外してください。

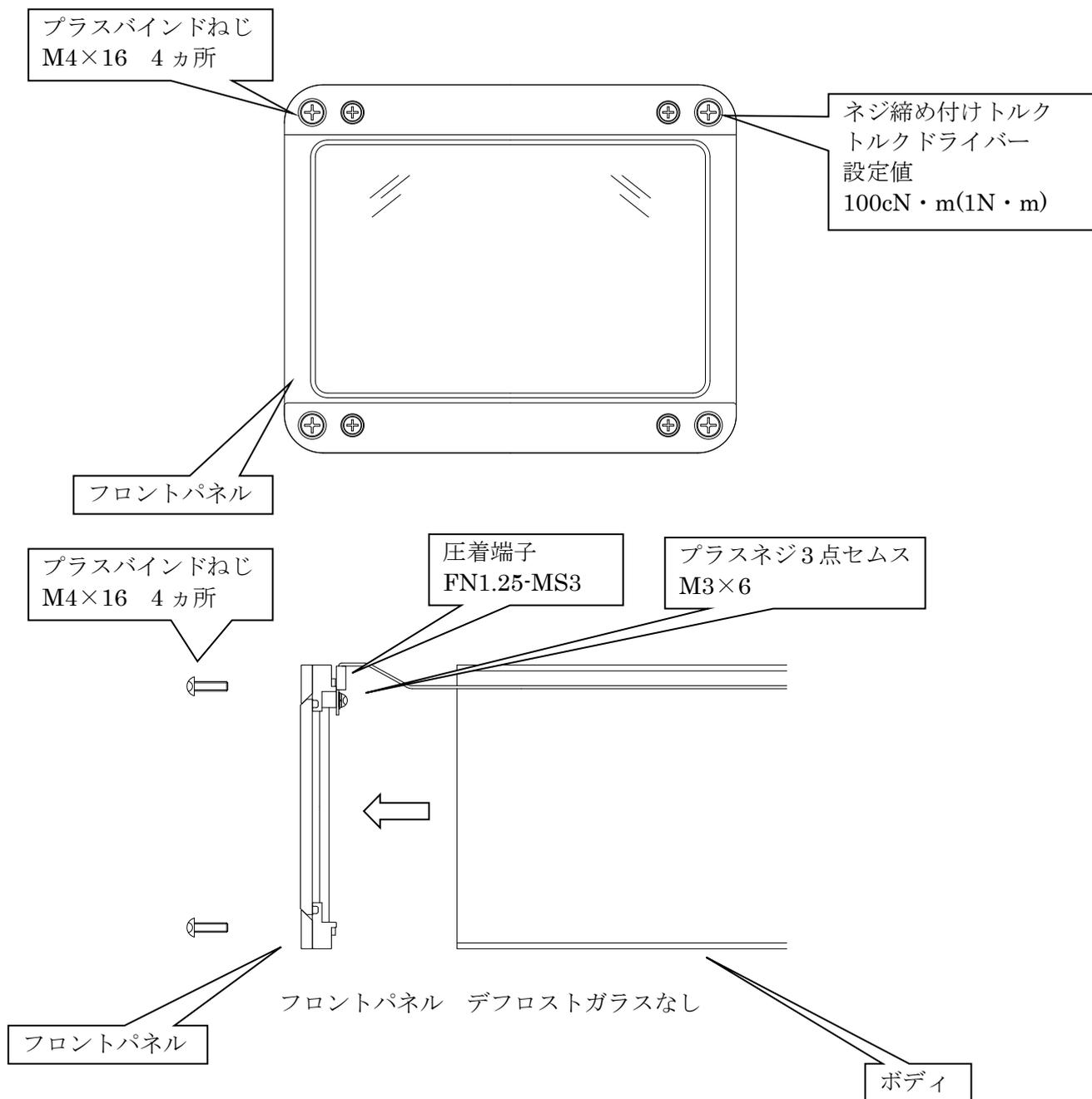
（取外す際、ネジの落下等十分注意してください。）

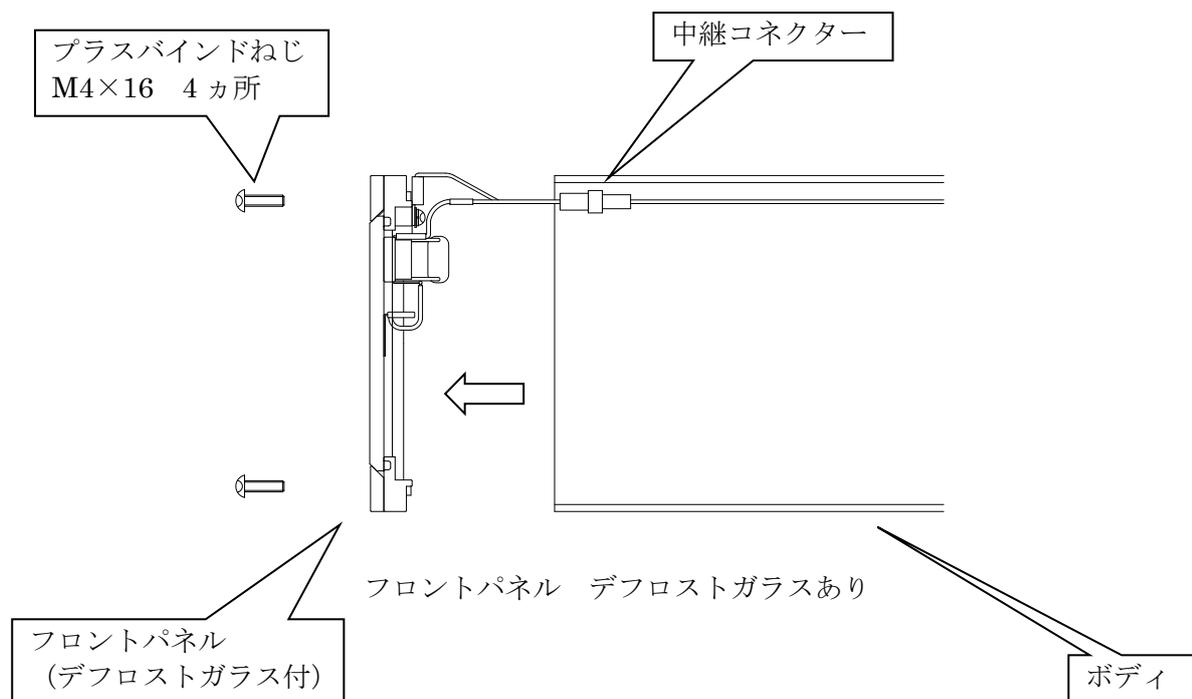
取外しましたら、少し手前に引いてプラスネジ 3 点セムス（M3×6）を外し、圧着端 FN1.25-MS3 を取外してください。

また、デフロストガラス使用の場合は、少し手前に引いて中継コネクタを外してください。

取付ける際は、取外しの逆の手順で作業を行ってください。

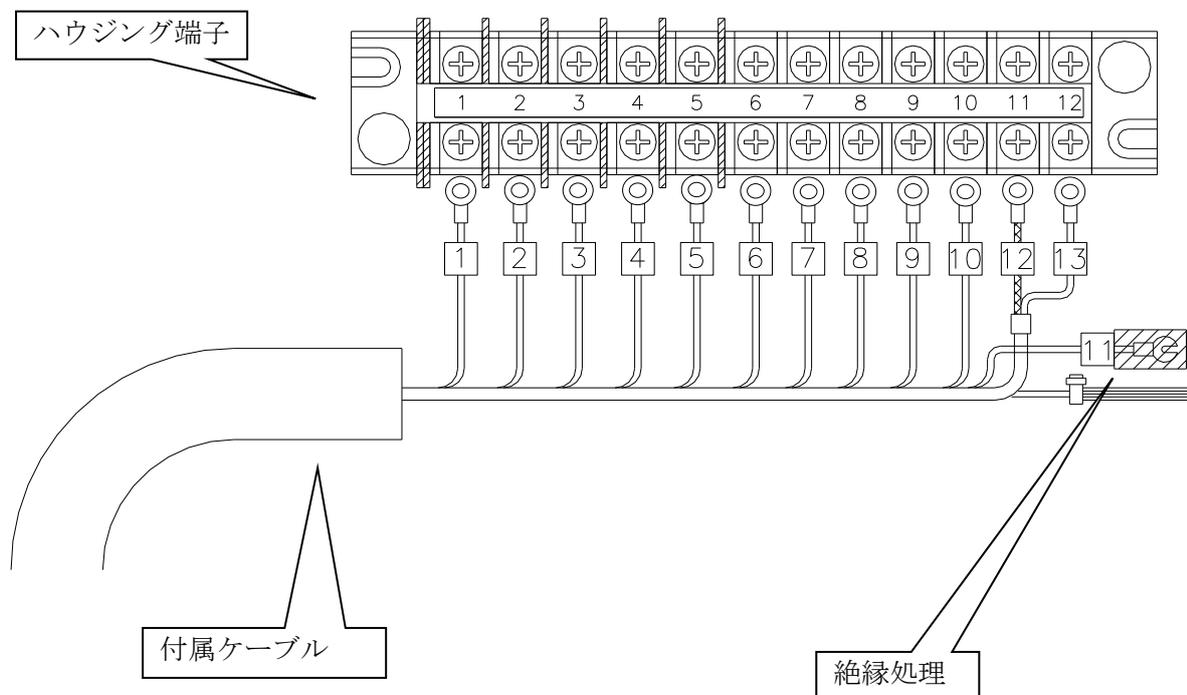
（取付ける際、電線がフロントパネルとボデーの間に挟まれないよう十分注意してください。）





PTH-17/77 型付属ケーブル接続方法

PTH-17/77 型を使用の場合は、付属ケーブルの接続を下記のように行ってください。
また、付属ケーブルの 11 番は、ビニールチューブなどで絶縁処理をするようお願いします。



株式会社 

特機営業部

〒102-8520 東京都千代田区麴町1-10-1 ミカミビル3階
TEL.03(3230)4511 FAX.03(3230)3451

西日本支店

〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎2-7-9 豊崎いずみビル8階
TEL.06(6376)1821 FAX.06(6376)2071

仕様は予告無く変更される場合がありますので、ご了承ください。

MUM0233-7

2021.02